

児童発達支援ガイドラインによる自己評価について

保護者評価

2022年 1月

るんるんキッズハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：保護者71%（27名/38名：回収数/配布数）

《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	「生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか」の項目で例年通り好評を頂いた。専門性があるか不明、毎日何人の職員がいるのか分からないとの声もあった。送迎時「保護者と職員の会話での言葉使いにおいて不快な思いをした」とご指摘をいただいた。	るんるん新聞やホームページ動画を活用しながら児童の過ごし方を公開していく。引き続き毎回の連絡帳でのやり取りにて、保護者の方々へ日々の活動周知を行う。保護者と職員の会話の中で言葉使いが不快に感じた件については、職員全員に周知しすぐに改善を図る。
適切な支援の提供	「固定化しない活動プログラムの工夫がされているか」の項目で引き続き高い評価を頂いた。毎月の催しものも多い。創作活動が楽しそう。自宅ではやっていなかった事ができるようになって嬉しい。と好評頂いた。一方で「保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか」の項目で分からないの回答が多数あった。	曜日により療育内容を決め取り組んでいる。月：読み聞かせ 火：創作活動 水：言葉の教室 木：体操教室 金：リトミック プログラム内容の改善を新年度のタイミングで変更予定。 現在障害のない子供との交流は行っていない、数名の保護者から「交流の希望はしていない」と意見を頂いた。今後も交流の予定はなし。
保護者への説明等	連絡帳で家庭での様子や事業所での様子のやり取りがあるので相互に連絡でき情報共有しやすい。保護者のニーズを満たしている。と好評いただいた。ペアレントトレーニングについて、父母の会の活動支援、保護者同士の連携支援について「どちらともいえない」が多数。他の保護者と関わる機会が欲しい。保護者会や親睦会の開催を希望。保護者同士の交流の場が欲しい。と意見があった。	コロナ渦で事業所内での個別面談より電話面談希望の保護者が増えた。ニーズに沿って実施していきたい。保護者同士の交流として、保護者間での同意を得て交流が持てるよう親同士の紹介を行っている。希望者には何気ない会話や意見交換をしていただいている。
非常時等の対応	避難訓練の実施があるのか不明と多数意見を頂いた。災害時の避難場所について教えて欲しい。との声もあった。感染症対策について、マスクの着用、手洗い、消毒、換気をしている事で、事業所内で出来る事はやっていただいでいて安心との声も頂いた。	新型コロナウイルス等、感染症予防対策として、手洗い・換気・消毒等の予防対策を引き続き実施する。緊急避難場所等のプリントを配布しているだけではなかなか周知が行き届かないので、定期的な声掛けやLINEでの配信を検討する。避難訓練についても実施した月には新聞などで告知していけるように工夫する。
満足度	毎回子供が楽しく通所できているので嬉しい。安心して預けられる。通所するようになり調子が良くなった。集団生活で生き生きしている写真を見れて嬉しい。と高い評価をいただいた。マイナスな意見はなかった。	満足度が低下しないよう、サービスの質の維持、向上を図っていく。保護者の方が安心してお子様を預けられるよう、信頼して頂けられるよう日々支援に励んでいきたい。また児童達も楽しく安心して過ごせるようなイベントを今後も計画していく。